

# 仙台第三高等学校

校訓 心身の健康 真・善・美の追求 愛と知の稔り



## 1 基本データ

創立：昭和38年  
課程・学科：全日制課程・普通科，理数科  
生徒数：名  
所在地：〒983-0824  
仙台市宮城野区鶴ヶ谷 1-19  
TEL：022-251-1246  
FAX：022-251-1247

ホームページアドレス：  
<https://sensan.myswan.ed.jp>  
電子メールアドレス：  
sensan@od.myswan.ed.jp  
主な交通機関  
仙台市営バス：鶴ヶ谷七丁目ゆき 鶴ヶ谷三丁目三高前下車 徒歩1分  
東北本線：東仙台駅下車 徒歩20分

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

### TEAM 仙台三高

仙台三高は、1つのチームとして互いに励まし合い頑張る集団です。

### 三高旋風を巻き起こせ！！

仙台三高生は、常に声をかけあって高いレベルを目指します。

#### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

昭和38年に全日制普通科男子校として開校し、昭和43年には県内初の理数科が設置され、さらに平成21年に男女共学となりました。文部科学省より、平成22年度にSSH指定校に指定され、先進的な授業の研究と実践に取り組み、全校体制で探究活動に取り組んでおります。令和4年度からは第3期のSSH指定を受け、周辺地域を対象にした探究活動を進めております。

施設は、400人収容可能の大講義室・学習室・生徒ラウンジ・職員室前の学習指導コーナー・多目的教室・選択教室等を備えた校舎の他、体育館、武道館、弓道場、フェンシング場、卓球場、部室棟、硬式野球場、テニスコート、サッカー場、400mトラック、ハンドボールコート、ラグビー場(第2グラウンド)があり、充実した教育環境を備えています。

#### (2) 教育方針

建学の精神である「心身の健康」、「真・善・美の追求」、「愛と知の稔り」に則り、次の教育目標を立てています。

- ①仙台三高は、多様な人々と協働する寛容な心を持ち、社会の変化にしなやかに対応する、逞しく豊かな人間性を育みます。
- ②仙台三高は、人類が積み上げた英知に学び、真理の追求を通して知性と感性を磨き、事象を深く探究する態度を養います。
- ③仙台三高は、博愛の精神と創造する知を育む人づくりを通して、よりよき未来の創出に貢献します。

また、「仙台三高の教育活動で身に付ける6個の力」の育成を目指します。  
1自己管理力 心身の健康を維持するために、健全な生活習慣を身に付け、様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。

- 2信頼構築力 相手の立場を思いやり、尊重し、互いに信頼関係を築くことができる。
- 3自己研鑽力 人類が築き上げてきた真理を重んじ、それを教養として身に付けることを通して、自らの資質・能力を高めようとする。
- 4課題突破力 困難な課題に立ち向かい、解決するために、個人の資質を高め、チーム一丸となる実行力を持つ。
- 5未来デザイン力 未知なるものに立ち向かうために、自己の可能性や周囲の可能性を信じ、能動的に知性を高め行動していく。
- 6社会牽引力 他者理解・思考力など総合的な判断力をもって、集団を牽引し、社会貢献し、共生して生きていく。

#### (3) 教育課程の特色

大学へ進学するための十分な基礎学力と応用力を育成します。

普通科は2年生から進路希望に応じて文系と理系の2つの類型に分かれます。文系クラスは国語・地歴公民・英語に、理系クラスは数学・理科・英語に重点を置いて学習をします。令和4年度入学生からはイノベーション探究として、探究活動をより発展させていきます。

理数科は大学や研究機関との連携による様々な活動などが行われており、高度で奥の深い学習ができます。課題研究では、様々な場面でポスター発表や口頭発表が行われます。さらにその成果は姉妹校である国立台湾師範大学附属高級中学において、全員が英語で発表するとともに、優秀な研究は各種学会で発表を行うことができます。

#### (4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事として、4月に新入生応援歌唱指導、5月に生徒総会、三高探究の日、6月に芸術鑑賞、7月に前期体育大会、南三陸フィールドワーク、8月につくば研修、白神フィールドワーク、9月に三高祭、10月に栗駒フィールドワーク、校外研修(1年生)、後期体育大会、11月にイノベーションフェスタ、12月に修学旅行(2年生)、生徒総会などがあります。

生徒会は、代議員会、執行部、監査委員会、会計がそれぞれの権限を持ちながら協力して活動しています。生徒会行事はこの生徒会役員を中心に、生徒の手によって行われます。

部活動は17の運動部と14の文化部が活発に活動しています。文武の両立を図るため平日19時の完全下校となっていますが、短い活動時間でも内容の濃い練習を行

っています。令和7年度は、テニス部、ソフトテニス部、フェンシング部がインターハイや全国選抜大会に出場、陸上競技部、ハンドボール部、ラグビー部、水泳部が東北大会に出場している。文化部も放送部が全国大会に出場しており、県大会レベルで多くの部が上位入賞を果たしています。

#### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	186	195	211
国公立短大	0	0	0
私立大学	71	76	70
私立短大	0	0	0
国立大学校	0	0	0
専各学校	3	3	0
就職	0	0	0
その他	55	39	35
卒業生計	315	313	316

主な進路先(令和8年3月卒業生)、

( )内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

東北大学(23)、宮城教育大学(10)、北海道大学(7)、帯広畜産大学、弘前大学(4)、岩手大学(12)、秋田大学(7)、山形大学(25)、福島大学(3)、筑波大学(3)、茨城大学、宇都宮大学(6)、群馬大学(2)、埼玉大学(10)、千葉大学(3)、電気通信大学(2)、東京海洋大学、東京学芸大学(5)、東京農工大学(5)、横浜国立大学(5)、新潟大学(8)、金沢大学(2)、静岡大学(3)、信州大学(5)、名古屋工業大学、滋賀大学(2)、神戸大学、京都工芸繊維大学、広島大学(2)、九州大学、宮城大学(5)、福島県立大学(2)、会津大学(2)、高崎経済大学(2)、都留文科大学、東京都立大学(4)、横浜市立大学(2)、静岡県立大学、諏訪東京理科大学、大阪公立大学(2)、兵庫県立大学

<私立大学>

東北学院大学(12)、東北医科薬科大学(5)、東北芸術工科大学、東北工業大学、青山学院大学(3)、学習院大学、北里大学、京都薬科大学、慶應義塾大学(3)、工学院大学(2)、國學院大学、国際基督教大学、駒澤大学、芝浦工業大学(4)、順天堂大学、上智大学、成蹊大学、千葉工業大学、中央大学(4)、東京都市大学、東京農業大学(2)、東京薬科大学、東京理科大学(2)、東洋大学、日本大学、法政大学(5)、明治大学(5)、酪農学園大学、立教大学、立命館大学(3)、早稲田大学(3)

### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

## 文武不岐の仙台三高！ 県総体で大活躍！！

(令和7年6月の学校日より)

- ★陸上競技 女子2000mSC 3位 佐藤舞由(南光台中) 東北大会出場
- ★ハンドボール 3位 東北大会出場
- ★テニス 男子団体優勝 インターハイ出場  
男子シングルス 優勝 今井勇貴(柳生中) インターハイ出場  
男子ダブルス 優勝 今井勇貴・秋田敏太 インターハイ出場
- ★ソフトテニス 男子ダブルスベスト8  
村山博音(仙台中田中)・佐川隼祐(八乙女中) インターハイ出場
- ★柔道 女子個人48kg級 3位 幸春花(五城中)
- ★フェンシング  
女子団体 優勝 インターハイ出場  
男子団体 準優勝 東北大会出場  
男子フルレ準優勝 安保昇汰(五橋中) インターハイ出場  
男子サーブル準優勝 安保昇汰(五橋中) インターハイ出場  
女子フルレ3位 由利弥琴(高森中) 東北大会出場  
女子サーブル3位 兵藤里林(西山中) 由利弥琴 東北大会出場
- ★ラグビー 3位 東北大会出場

#### ★水泳

- 女子50m個人自由形 6位 千葉柑奈(加茂中) 東北大会出場
- 女子100m個人自由形 4位 渡邊沙妃(向洋中) 東北大会出場

- ★放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会  
創作テレビドラマ部門 最優秀賞ほか 全国大会出場  
テニス部 今井勇貴(3年 柳生中)

まず、この宮城県予選を団体、シングルス、ダブルス全て優勝できたことをとても嬉しく思うと同時に、安心してます。第1シードとして優勝を当たり前とされたプレッシャーの中で、いつも通りを発揮できなくても優勝できたことはとても自信に繋がりました。

7月28日から8月4日に広島県で行われるインターハイでは、帯同してくれる先生や、テニスを続けさせてくれた両親への感謝を胸に、今まで努力してきた10年間を全て出し切りたいと思います。放送部 井上陽菜(3年 加茂中)

私たち放送部は、オーディオメッセージ部門とビデオメッセージ部門の2部門で、香川県で行われる全国総合文化祭に出場してきます。この大会は、長い期間と、多くの労力をかけて制作した番組をたくさんの方に見て、聞いていただける貴重な機会です。宮城県代表として、自分たちの「伝えたい思い」を存分に表現したいと思います。仙台三高放送部への応援、よろしくお願いします。

#### (2) 仙台三高の学校行事

## 三高探究の日 ～研究成果を堂々と発表～

本校の探究活動の成果を発表する「三高探究の日」(探究活動成果発表会)が開催されました。The English Scientific Research Presentation Fair 2025 in Fukushimaに参加した理数科の探究班が「回転体に発生するマグナス効果の検証」という題で、日本海洋教育学会に参加した普通科探究班が「海洋ごみ問題について私たちにできることとは」という題で、さらに宮城県生徒理科研究発表会で最優秀賞を受賞し、日本地質学会にも参加した自然科学部地学班が「栗駒山麓ジオパークにおける中新世の露頭の構造解析」という題で発表しました。また海外交流発表として、台湾の台中市私立明道高級中学の生徒がオンラインで研究発表をしてくれました。本校からも理数科の探究班が英語で研究成果を発表し、両校の生徒間で英語による質疑が活発に行われました。



張山 真聖 さん(3年:南中山中) 自然科学部地学班  
題目:「栗駒の凝灰岩の分析」

今回の「三高探究の日」では代表発表を行いました。研究の進め方や重要なポイントを分かりやすく伝えるためにスライドを工夫し、自分の研究を改めて見つめ直す良い機会となりました。質疑応答では外部の方から質問や助言をいただき、新たな視点も得られました。多くの方の前で発表できたことは、これまでに無い貴重な経験でした。

## 三高のフェスティバル

前期の球技大会 後期の陸上競技 そして夏の終わりの三高祭 仙台三高の体育祭は、前期後期の2回! 思い思いのクラスTシャツを着用し、クラスと学年の絆が深まる行事です。文化祭は実行委員を中心に、熱意溢れる生徒たちの創意工夫によって、活気のある三高祭を創り上げています。コロナ禍での制限がかかる中、生徒の発案で始めた花火の打ち上げは鶴ヶ谷地域の風物詩になりつつあります。令和8年は8月28日と29日(一般公開は29日)に開催されます。

## 科学の現場で学ぶ 三高の夏！！

三高生は学校を飛び出し、科学の「現場」でフィールドワークを実施します。南三陸FW、つくば研修、白神山地研修・・・体験活動や研究機関見学で、さらなる意欲が高まる刺激的な経験です。



## 多彩な学校間交流～海外研修

SSイングリッシュカフェ ポストン研修 台中研修・・・

仙台三高は、国内外多くの学校と交流授業を行っています。2年生の修学旅行では、理数科は台湾、普通科はクラスごとに関西の各校と交流しています。また京都の堀川高校や台湾台中の明道中学など、相互交流の形で多くの学校が来校し、交流授業を行っています。さらに3月には海外研修として、希望者によるポストン研修や台中研修を行っています。



## 4 在校生(生徒会)からのメッセージ

○生徒会長 伊藤 天伽さん(自然科学部)より

三高には「一人では到達できない高み」へ、辿り着けます。それが仲間と取り組む「Team 三高」の精神であり、この「Team」の力は、あらゆる場面で発揮されます。例えば部活動、グラウンドをはじめ、校内のあちこちから、日々、東北大会や全国大会を見据えた厚い活気が溢れています。教室では、最高の仲間たちと日々、切磋琢磨しあい、先生方の手厚いサポートを背に、第一志望合格 Team への大きな夢へ全力で挑んでいます。この「文武両道」の光景が「Team 三高」の日常です。皆さんの公金を形にする場所がここにあります。SSHの指定校として理数科での研究活動や普通科の探究活動で社会を動かせるような実践、台湾やポストン、GLC 活動を通しての海外交流、「世界を肌で感じるチャンス」が皆さんを待っています。三高は、ただ勉強するだけの高校ではありません。多方面へ自分の可能性を広げられる、限界をとばできる高校です。皆さんが「Team 三高」の一人になり、ともに最高の青春を駆け抜ける日を、楽しみにしております!